

# 海上の森自然観察会

## テーマ 虫の声を楽しもう

日時 2014年9月20日(土) 10:00～15:00(曇り)

参加者 一般：3名(子ども0) 指導員：8名

アウトドア活動に適したさわやかな季節になりました。この日は曇り空で、大して汗をかくこともなく写真撮影にも適した空模様でした。渡りをする蝶として知られているアサギマダラがちょうどこの辺りを通過する時期なので、姿が見られることを期待して物見山方面に向かうこととしました。

出発に先立ち、駐車場でクズの花にいたウラギンシジミの幼虫を観察しましたが、花に擬態していて、どれが幼虫か見つけるのに一苦労です。トイレの横にアレチケツメイが生えており、蜜腺の形からカワラケツメイとの違いを確認しました。草原で鳴くエンマコオロギの声を聞いて出発です。

歩き出してすぐにヨシの葉の上にいたクロコノマチョウの幼虫を見ました。緑色のスマートな芋虫で、毎年この辺りで見かけます。季節外れのホドイモの花や、今が盛りのシラヤマギク、ヒヨドリバナ、オトコエシ、ヤマジノホトトギスなどの花を見ながら物見山に続く林道を進みました。

物見山の展望台下の広場の手前でヒヨドリバナの花で吸蜜しているアサギマダラを見つけました。付近をよく見ると何頭か飛んでおり、後翅にある黒い性紋の有無で雌雄の見分けもできるようになりました。物見山展望台で昼食をとっている時にも、頭上をアサギマダラが飛んでいました。毎年、この付近で1?2頭のアサギマダラは見られますが、今回は10数頭が見られるという幸運に恵まれました。

物見山からの下りでマルバノホロシの花と実を見ました。撮影に適した場所で、しっかりとモデルになっていました。

大正池の近くの笹の上ではヒメアカネとマユタテアカネがたくさん見られました。オスは成熟して真っ赤になっておりよく目立ちました。池の中に立っているあちこちの枯れ木の先端にはネキトンボが止まっていた。

海上の里のサテライトで休憩してから15時に駐車場に戻りました。虫の鳴き声は随所で聞かれましたが、鳴いているのはクサヒバリかなといった感じで、鳴き声ではしっかり同定できず、課題は残りましたが、季節にふさわしいいろいろなものに出会えた楽しい観察会となりました。

(報告：齋竹善行)

<その他観察できたもの>

昆虫：エンマコオロギ(声)、クルマバッタ、セスジツユムシ、コバネイナゴ、オオカマキリ、ヒメジャノメ、キアゲハ、ダイミョウセセリ、ミドリヒョウモン、オオチャバネセセリ、ヒメウラナミジャノメ、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、フクラスズメ(幼)、ギンツバメ、ヒトツメオオシロヒメシャク、ウスバキトンボ、ヒメアカネ、マユタテアカネ、リスアカネ、コノシメトンボ、アオイトトンボ、ホソミイトトンボ、オニヤンマ、ツクツクボウシ(声)

鳥：ウグイス(声)、メジロ、シジュウカラ、コゲラ、キジバト、ヒヨドリ、カケス(声)、カイツブリ、モズ(声)、ハシブトガラス

花：キハギ、ママコノシリヌグイ、センニンソウ、キンミズヒキ、ミズヒキ、ギンミズヒキ、オケラ、アレチマツヨイグサ、ゲンノショウコ、ヒメジョオン、ヤブラン、ダイコンソウ、ミズタマソウ、ツククサ、ヌスビトハギ、ヤマジノホトトギス、ツリガネニンジン、ガンクビソウ、シュウブソウ、ヤブタバコ、イヌコウジュ、ヒメジソ、アキチョウジ、ネコハギ、ボントクタデ、ミゾソバ、イヌタデ、ノササゲ、ヤブマメ、ヤノネグサ、スズカアザミ、ヤマシロギク、ヒメシロネ、ツルニンジン、ヒガンバナ



(観察会のようす)



(ヒヨドリバナで吸蜜するアサギマダラ)